

(仮称) 相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）連続立体交差事業 環境影響評価準備書

質問の要旨及び市からの回答

	質問の要旨	市からの回答
1	坂本鶴ヶ峰線拡張により、駅前（コンビニ店から新規に道路増加し、区役所に向けての路線）の計画との関係（まちづくりの計画とこの連続立体交差事業との関係性）	鶴ヶ峰駅北口周辺地区においては、連続立体交差事業などを契機として、まちの課題を解決し、より魅力的な鶴ヶ峰駅周辺のまちづくりを進めるため、「鶴ヶ峰駅北口周辺地区まちづくり基本構想（平成 31 年 3 月）」を策定しています。当地区では、「開かずの踏切」などによる慢性的な渋滞、鉄道によるまちの分断などが課題とされており、鉄道を地下化し踏切を除却することで、地域交通の円滑化や踏切事故の解消、地域の一体化による生活環境の向上等を図ってまいります。
2	ココロット（高層建物）による風による問題（ビル風）	本事業は、鉄道を地下化し踏切を除却する事業であり、新たな高層建築物を建設するものではありません。
3	駅前の一方通行により事故多数有り。踏切が無くなり、歩行者に対する配慮対策	踏切除却後の安全対策については、今後、交通管理者と協議の上、道路利用者の安全や円滑な通行を確保するよう、必要な対策を検討していきます。
4	地下駅による電車利用者に対する対応 地下 30～40m以内にプラットフォームを設置する場合、地上より階段を利用した場合何メートル歩行しなければならないのですか。時間は何分位ですか。 高齢者に負担のかからない良好な対策をお願いします。	新たに地下に設置する駅について、バリアフリーに対応すると共に、利用者の利便性、快適性を確保するため、エスカレーター、エレベーターを設置する予定です。歩行する距離や時間など、詳細については、現時点でお示しすることができませんが、今後、本市の「福祉のまちづくり条例」等に基づき、設計を進め確定してまいります。
5	シールド工事は上部の鉄道車両を通しながらの施工となりますか、夜間または昼夜どちらになりますか。	シールド工事は、鋼鉄の筒の中に掘削する機械を納めたシールドマシンで周囲の地盤を支持しながら、先端部を回転させて地盤を削って掘進していく工事であり、地上部を改変する必要がなく上部の鉄道車両を通しながらの施工となることから、昼夜作業を予定しています。

	質問の要旨	市からの回答
6	調査ボーリングは何箇所やりましたか。そのデータは一般の人も観られますか。	<p>本事業に係るボーリング調査は 16 箇所で実施しており、その結果を地質縦断図として取りまとめ、準備書（第 6 章 6.5 水循環）に示しています。準備書の縦覧及び閲覧については、下記のホームページを参照してください。</p> <p>[（仮称）相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）連続立体交差事業に係る環境影響評価準備書の縦覧について]</p> <p>https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/hozentorikumi/assessment/shinaijigyuu/86-mokuji/86-zyunbi-zyuuran.html</p>
7	沖積粘性土層が広範囲に厚く分布している可能性が小さいとかの記載がありますが、全ボーリングデータの結果ですか。	16 箇所で実施したボーリング調査の結果から、対象事業実施区域の地質の状況は準備書（第 6 章 6.5 水循環）に示した地質縦断図のとおりと推定しています。
8	施工前に施工周辺の家屋調査（クラック・傾斜状況）、施工後の状況等の調査を考えていますか。	今後、工事説明会等の中で、家屋調査の時期や方法等について、ご説明いたします。
9	本件の事業が中止になることを私は望んでいますが、一部の住民のみの希望だと思いますが、住民のデータは取られたのですか。	<p>本事業については、これまで都市計画など事業に関する説明会を計 6 回開催しており、早期完成などを求めるご意見をいただいております。</p> <p>また、平成 28 年には、旭区連合自治会町内会連絡協議会などから、市長あてに、早期事業化や地下方式の採用等について、ご要望をいただいております。</p>

	質問の要旨	市からの回答
10	<p>日常的に、大型トラックが通過すると、振動でアパート全体の壁がガタガタと揺れています。</p> <p>そんな立地条件の中、工事が施工される不安（陥没や倒壊等の安全性に問題がないのか）と、ただでさえの現状なので工事中の振動や騒音が不安だし疑問です。</p>	<p>本事業の実施にあたっては、対象事業実施区域における地盤や建築物等の状況を十分把握した上で設計及び施工計画の検討を行い、最適な構造・工法・施工管理方法を採用する予定です。また、適切な施工管理の下、地盤等の状況を監視することで安全に係る兆候の変化を早期に察知し、状況に応じて迅速かつ適切な対応を講じることで、安全確保の徹底を図ってまいります。</p> <p>工事用車両の走行に伴う騒音・振動については、環境保全措置として工事用車両の集中を回避するための計画的かつ効率的な運行計画の検討・実行、工事関係者に対するエコドライブ実施の指導、工事用車両の点検・整備による性能維持を講じることで、可能な限り影響の低減を図るとしており、また、その予測結果から、環境保全目標を満足するものと考えています。</p> <p>なお、現段階では予測し得なかった著しい影響が確認され、その影響と本事業との関連が明らかになった場合には、必要に応じて適切な措置を講じていきます。</p>
11	<p>十数年前より帷子川親水緑道公園にホタルの育成活動を継続しています。昨年、一昨年と自生したホタルの飛翔を確認できるようになりました。</p> <p>工事による「生態系の係る影響は最小限に留めること」とのことですが、ホタルの育成場所は、上流側の範囲で草木の伐採、岸辺の掘り起こし、また水質の変化等、環境の変化はありませんか。※環境変化があるとホタルは壊滅の恐れあり</p>	<p>環境影響評価準備書の検討における調査により、ゲンジボタル（成虫2個体）を確認しています。</p> <p>本事業の実施にあたっては、帷子川親水緑道の改変範囲を必要最小限に留めるとともに、親水水路に生息する水生生物等へ配慮し、工事期間中も親水水路の水の流下が確保されるよう施工計画を検討していきます。</p>